

■南アフリカ：クールルーフを用いたエネルギー消費削減

南アフリカの現地メディアは2012年4月20日、セラミックメーカーであるセラテック社によるクールルーフを用いたエネルギー消費量削減への取り組みについて報じた。同国では、電力・ガソリン不足に伴う価格高騰が深刻な問題となっている。クールルーフは、無数のセラミック粒子を含むコーティング剤を屋根に塗布して高い断熱性を確保するもので、即効性があり、コストパフォーマンスが非常に高く、同社は建物の冷房に要するエネルギーの45%を削減できるとしている。クールルーフは世界各地で広く使われているが、南アフリカでは普及が遅れている。同社のChris Hayman会長はその理由として、「南アフリカでは建築物は環境よりも景観を重視する傾向にあり、屋根冷却で最も効率的な白色は、デザイン上敬遠される傾向がある」ことを挙げている。同社は、クールルーフを普及するために、一部の学校と病院の屋根材としてクールルーフを寄贈することになっている。